

「7/1 下手浜保育所運動会 (徒競走)」

カメラがあると
照れるなあ～

あそび
2006
平成18年
8
No. 460

〈開催日〉 8月14日(月)

晴天の場合(大間港)

(第1部)

- 9:00 津軽海峡海鳴り太鼓
 - 9:15 開会式・舟競争大会開会式
 - 9:45 舟競争大会(予選)
 - 10:15 大間の与一
 - 10:45 キャラクターショー(轟轟戦隊ボウケンジャー)
 - 12:00 マグロ解体ショー ※使用するマグロは漁の都合により産地が異なる場合があります。
 - 12:30 大間YOSAKOIソーラン
 - 13:00 マグロ引換券配布(舟競争テント)
 - 13:30 舟競争大会(決勝)・表彰式
 - 14:00 マグロ配布
 - 14:30 てっぺん電撃ウルトラクイズ
 - 15:15 麻生詩織ライブショー
 - 16:00 キャラクターショー(轟轟戦隊ボウケンジャー)
 - 17:00 ゲストよさこいショー
- (第2部)
- 19:00 花火大会

雨天の場合(北通り総合文化センター「ウイング」)

- 10:00 マグロ解体ショー
- 11:30 マグロ配布
- 13:00 開会式
- 13:30 大間YOSAKOIソーラン
- 14:00 てっぺん電撃ウルトラクイズ
- 15:15 麻生詩織ライブショー
- 15:45 キャラクターショー(轟轟戦隊ボウケンジャー)
- 17:00 ゲストよさこいショー

※内容、時間等は変更する場合があります。

花火大会注意事項

- ① 岸壁には、ロープを張り立入禁止の表示をしますので、会場の中では会場整理係の指示に従ってください。また、西防波堤・斜路についても立入禁止区域とします。
- ② 立入禁止区域に入ると花火大会を一時中断します。皆様のご迷惑になりますので**絶対入らないで**ください。
- ③ 車両進入禁止は

(1) ヤクルト脇の道路	(2) なかしま旅館脇の道路	(3) 高橋本店脇の道路
(4) 旧大間漁協脇の道路	(5) 十和田食糧脇の道路	(6) 米沢ガス脇の道路
(7) けいこ美容室脇の道路	(8) 割石荷捌所脇の道路	

 以上8カ所となっておりますのでご協力お願いいたします。
- ④ **駐車場は割石岸壁及び開発センター**となっております、大変混雑が予想されますので、車でのご来場はなるべくご遠慮願います。
- ⑤ 海を汚さないためにも、空き缶などの**ゴミは必ず持ち帰る**ようお願いします。
- ⑥ 花火スケジュールについては、進行状況により多少変更があります。また悪天候の場合は**随時31日(木)まで順延**となります。
- ⑦ 会場内での事故等については、一切の責任を追いかねますので、ご了承ください。
- ⑧ 不発花火を発見した人は**絶対に手を触れず**、役場産業振興課・大間町商工会・大間警察署までご連絡くださるようお願い致します。

【連絡先】

役場産業振興課	TEL 37-2111
大間町商工会	TEL 37-2233
大間警察署	TEL 37-2211

- ⑨ 花火大会終了後の交通渋滞を緩和するために、車での来場者の出口方向は、**割石方面の左折だけ**としますのでご協力願います。
- ⑩ 花火大会開催中、フェリーターミナルでのご観覧は、フェリー利用者と花火大会観覧者同士の車のトラブルが生じる恐れがありますので、**フェリーターミナルでのご観覧はご遠慮ください。**

＜大間警察署からののお知らせ＞

イベント当日は、町内交通違反取締りを行いますので駐車違反等に気を付けてください。

＜大間港利用者の皆様へお願い＞

花火大会当日、港内に係留されている方は、船舶の移動にご協力をお願い致します。



お問い合わせ先
 役場産業振興課
 大間町商工会
 TEL 37-2111
 TEL 37-2233



大間小学校・思い出保存プロジェクト進行中

数十年に渡り、様々な『思い出』を染み込ませた大間小学校の校舎が、今年から段階的に取り壊され、平成20年にはすべて新しくなってしまうことから、「『思い出』を形あるものとして残そう」と大間女（おまめ）の会や大間小6年生、担任の先生、大間高校生（パソコン部やボランティア部）やPTA（卒業生含む）そして教育委員会の社会教育課職員、地域コーディネーターからなる実行委員会「わが愛しのオンボロ校舎の思い出を残す会」により「大間小学校・思い出保存プロジェクト」が計画されました。



▲誰に約束をとりつけるか相談



▲ドキドキしながらお願いの電話

このプロジェクトはまず、大間小について『思い出』を持つている方に、実際に小学校に来てもらいます。そこで実行委員である6年生が直接インタビュー。「思い出」を掘り起こし、その様子を映像におさめようというものです。編集した映像は、9月9日（土）夜に大間小学校にて、『思い出ナイト』と称して上映会を行う予定です。

@8月15日は、大間小学校の一般開放デー@

成人式の日。 思い出の大間小学校を訪れてみませんか？

成人式のあと、仲間と思い出の小学校へ行ってみませんか？
ついでに、カメラに向かって、あなたの思い出をほんの少しでも語ってもらえれば幸いです。

大間小学校訪問のお申込み・お問合せは
大間町教育委員会
TEL 0175-37-2103 または
事務局
TEL 0175-37-5073（あおぞら組内）まで

☆大間町の小学校「思い出ブログ」(<http://geriwara.cocolog-nifty.com/blog/>)ではインターネットを通じてお寄せいただいたエピソードや古い校舎の写真を公開中です。

〈わが愛しのオンボロ校舎の思い出を残す会〉

大間小学校 改築工事 安全祈願祭

大間小学校が、昭和20年代後半から30年代初頭に建てられた棟があるなど、老朽化が激しいことから、管理棟・校舎棟の建て替えを行うこととなり、6月20日（火）現地で、改築工事の安全祈願祭が執り行われました。

関係者ら50人あまりが出席し、工事の安全を祈願しました。

来年春から児童は、真新しい校舎で学校生活をスタートさせることとなります。



ほぐれんせつたいっほい運動会

小学校や中学校につづいて、町内の幼稚園、保育所・園でも運動会が開催されました。

家族の声援を受け、走ったり、踊ったり一生懸命競技に取り組みました。

年少組の子どものなかには、家族に向かって笑顔を振りまいて走る子、競走なのに遅れた友達を待っている子などがいて、どの運動会も笑いが絶えない楽しい運動会となりました。



▶マグロを落とさないでゴールまで
(6/24 大間幼稚園)



▶玉入れの後片付けも大変だ
(7/1 下手浜保育所)



▶お父さんと一緒にW杯出場
(7/8 大間保育園)

本州・北海道架橋を考える会 講演会開催

6月24日(土) 北通り総合文化センター「ウイング」において、本州・北海道架橋を考える会(代表幹事 福西秀和)が、「津軽海峡からのメッセージ〜みんなのでつくろう青函交流〜」講演会を、今回大間町で行いました。

特別講演では、北海道大学観光学高等研究センター長の石森秀三教授が「観光

立国の時代における海峡と観光」について講演。

石森教授は「津軽海峡大橋については大きな夢であり、国の状況を見ながら、地域としてどのようにしていくか、考えていかなければならない」と話し、海峡と観光についての興味深い講演に、出席者は一同聞き入っていました。



▶特別講演を行った石森教授

本州・北海道架橋を考える会とは

津軽海峡に人や自動車が通れる橋を架けることを目的に平成6年に設立。

この活動を通して地域交流を図り、青函地域の将来も考えようという会でもあります。

スポーツ青おもて 2007をPR

スポーツ・レクリエーション活動を楽しみながら交流を深めることを目的として、昭和63年から始まった全国スポーツ・レクリエーション祭の20回目の大会が来年青森県で開催されるのに伴い、7月10日(月)大会マスコットの「アップリート君」が大会をPRすべく役場を訪れました。

スポレクあおもりは平成19年9月22日(土)から25日(火)まで、県内各地16の市や町を会場に27種目が開催される予定です。



▶米澤教育長と記念写真

平成18年度 成人式のご案内

成人おめでとー！ 大間町成人式は、8月15日（火）

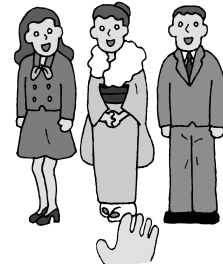
（日時）受付12時40分～
開式13時～

（場所）北通り総合文化センター「ウイング」

（対象者）昭和61年4月2日から
昭和62年4月1日の間にお生まれの方

当日は、新成人を祝う式典、記念講演、記念写真撮影を予定
しております。帰省中の方も是非ご出席ください。

※お問い合わせ先：教育委員会社会教育課 電話37-2103



「笑顔であいさつしよう」運動

～地域で進めよう。あなたからの一言。あいさつ声かけ～

青森県では、昨年度から「ひとつのいのち。みんなののだいじないのち。」をキャッチフレーズに「命を大切にすることを育む県民運動」を推進しています。

特に、命を大切にすることを育む声かけ事業では、家庭、学校やPTA、行政など地域全体で子どもたちへのあいさつや声かけ・見守りを行うことにより、人間同士の温かな結びつきや地域の大切な一員として認められているという安心感と命の大切さを伝えることを目的に実施するものです。

現在、県から委嘱された412名の声かけリーダーが県内各地で活動しており、当町の声かけリーダーは、下記の3名の方々です。「笑顔であいさつしよう」運動を地域の皆様のご協力をいただきながら、あいさつ声かけ運動を広げていくこととしております。ボランティア歓迎です。よろしくお願ひ致します。

【声かけリーダー】



山崎 アイ子さん



金田一 一子さん



笹谷 克則さん

【この運動に対するお問い合わせ先】

地区声かけリーダー 山崎アイ子 電話37-4567
地区声かけリーダー事務局 大間町教育委員会社会教育課
社教主事 二階 幸喜 電話37-2103

テストで見直しするように
自分の見直しをしましょう

大間町学力向上推進委員会
奥戸中 教頭 菊池 潔

期末テストの採点も終わり大谷徹獎氏の「みんな迷いがあるんです」という本を棚から取り出して久しぶりに読んでいたら、「テストで見直しするようには、自分の見直しをしましょう」という二行の文が目に入ってきました。

今年度の大間中学校の一学期末テストも終わり、生徒に答案用紙が返され、それぞれの教科で結果の見直しをしていました。また、ある学級の通信に「…テストの見直しをすることで、間違えた所や分からなかったところをそのままにせず、確実に覚えることが大切です…テストが終わりましたがこれがこれからが大事です。」と書かれてありました。

これはよく私達が言うことですが、改めて学習・生活を見直していかなければならぬことを考えさせられました。

今、社会で起きている様々な事件の陰には学生時

代の「いじめ」や「暴力事件」等の問題が影響しているのではと話されています。

このような悲惨な事件に巻き込まれたり起こさないようにしていくためにも日頃から、自分の行動をしっかりと見直し、自律している生徒になって欲しいと願っています。

本校では、基本的な生活習慣の確立を目指し次のような取り組みを行っています。

その一つに学習面では授業改善に努め、教科によっては二人体制をとったり、数学においては習熟度別3クラス編成をとり、校長はじめたくさんの先生方指導に当たっています。

生徒指導では、生徒の良面を認め合いながら対話を主とし、基本的な生活習慣の確立に努めるとともに、授業前後に先生方の巡回も行ったたり、父母との連携を図りながら指導にあたっています。

いずれにしても、生徒が健全に成長するためには、家庭、学校、地域が一つになって頑張っていかなければ…。

いきいき学校通信

大間高等学校

全教育活動を通じた 進路指導の推進

生徒の進路希望達成のために、さまざまな取り組みをしています。

授業の充実や進路指導のための教員研修、学力向上を目指した講習、合宿、添削指導、生徒の職業観形成のための各種見学会や講演会、保護者の進路意識啓蒙のための見学会や講演会などです。

また、側面から教員による企業訪問、上級学校訪問などの受け入れ先の開拓、スカート丈の是正を中心に服装容儀からの信頼構築、規範意識の醸成などにも力を入れています。

6月には外部講師を招いての「服育セミナー」を開催し、進路希望達成につながる服装容儀の整備に関する内面からの啓発も行いました。

剣道部の活躍

各部活動とも例年以上の戦績を上げていますが、剣道部は県大会レベルでの優勝がありました。

・県春季大会

男子団体優勝

女子個人準優勝

・剣道三沢大会

男子団体優勝

・県高校総体

団体ベスト8

男子個人ベスト8

女子個人第3位

※男子個人、女子個人は東北大へ出場。女子個人は国体へも出場します。

学校への関心増大

本校の教育活動に対する保護者の皆さんの関心が高まり、子どもたち育成のための大きな力になると確信しています。

7月20日現在（夏休み前）の在籍数は、235名ですが、4月に実施された三地区の懇談会では100名、総会で80名の保護者の参加がありました。近年にない数でした。また、6月中旬に実施した「保護者対象の進路研修会」にも1年から3年までの保護者50名の参加がありました。



▶「剣道三沢大会」

規範意識の醸成

年二回実施しています外部からの学校評価によりまずと、本校生徒に対する地域の期待は、「人間性の育成」が一番のようです。

社会人となるために必要な知識や態度や行動を身に付けさせてほしいというのが要点のようです。

学校としても、どのような世界へ行っても通用する力を身に付けさせたいと努力しているところですが、保護者の皆さんをはじめ、地域の方々のご協力もなければ達成できません。

登下校の挨拶や服装、行動など気になることがありましたら遠慮なくお知らせください。

地域の皆さんから信頼される大間高校になるためご協力願います。



▶「高P連東北大会」

さらに、年度始めから指導を強化した女子のスカート丈の是正に関して多くの保護者の方々からご意見をいただき、改めて方針完遂の意を強くしているところです。

PTA会長さんも「保護者と教職員と膝を交える機会を大事にしたい」と会員の皆さんに訴えておられますので、今後とも関係者で力をあわせて生徒の成長に寄与していきたいと考えております。

＋ 病院だより No.103 今月の担当医 院長 丸山 博行

プライマリ・ケアと大間病院

みなさん、“プライマリ・ケア”という言葉を聞いたことがありますか？“プライマリ”とは、初期、近接、常在、基本、本来といった意味ですが、重要なという意味も含んでいます。“ケア”とは、世話、管理、注意、配慮といった意味があります。“プライマリ・ケア”とは、住民のあらゆる健康、疾病に対し、総合的・継続的に、そして全人的に対応する地域の政策と機能と考えられます。

プライマリ・ケアの5つの理念があります。①近接性、②包括性、③協調性、④継続性、⑤責任性の5つです。以上の5つを大間病院について考えてみたいと思います。

①近接性の中には、地理的、経済的、時間的、精神的近接性の4つが含まれます。地理的近接性は短くするのはほぼ不可能ですが、経済的・時間的近接性は交通手段の確保により、また、精神的近接性は大間病院の努力により、短くするのは可能と考えられます。簡単に言うと、“大間病院がもっと利用しやすい病院になる”ことができると考えています。

②包括性の中には、“予防から治療、リハビリテーションまで”、“全人的医療”、“Common disease（一般的疾患？）を中心とした全科的医療”、“小児から老人まで”の4つが含まれます。以上の4つが、まさに大間病院が目指している医療で、病院は治療だけではなく住民の健康にももっと深く関与していかなければならないと考えています。

③協調性の中には、専門医との密接な関係、チーム・メンバーとの協調、Patient request approach（住民との協調）、社会的医療資源の活用が4つが含まれます。専門医との密接な関係については、今後、むつ総合病院、青森県立中央病院、函館市内の病院等との医療連携をすすめて行かなければならないと考えています。住民との協調に関しては、病院は患者を待っているだけではなく、健康教室等もっと地域に入って活動すべきと考えています。（現実には、マンパワー不足により、なかなか難しいのですが。）

④継続性の中には、「ゆりかごから墓場まで」、病気の時も健康な時も、病気の時は外来-病棟-外来へと継続的にの3つが含まれます。医師がかかわると継続性が保てなくなることがありますが、これは非常に問題で、システムとして継続性を保ちたいと考えています。簡単に言うと、医師がかわっても良い医療が提供できる病院を目指します。

⑤責任性の中には、医療内容の監査システム、生涯教育、患者への十分な説明の3つが含まれます。大間病院としては、“患者への十分な説明”をさらにすすめて行きたいと考えています。

以上のように大間病院はプライマリ・ケアを実践できる病院であり、地域の医療だけではなく健康にも深く関与して行きたいと考えています。“地域づくり”の1つとして“病院がある”と考えて欲しいと思います。みなさん、今後も上手に病院を活用してください。よろしく申し上げます。

自分らしい健康を
考えられる街づくり

保健だより 117号 住民福祉課

ツツガ虫病に注意しましょう！！

今年、ツツガ虫病が県内で過去5年間の同時期に比へ最多発生数となっています。

ツツガ虫とは

ダニの一種で、山林・河川・草地・耕作地などの地中に広く分布しています。地中で卵から孵化（ふか）し幼虫（体長約0.3ミリ）になると一度地上に出て、野ネズミなどの体液を十分に吸った後、再び地中に戻り若虫へと成長します。

ツツガ虫病の発症と症状について

幼虫の活動時期（他の有毒ダニの関連含む）に刺咬されることで、刺咬口からオリエンティ（起因菌）によって感染し発症します。※症状は5～14日の潜伏期の後に39度以上の高熱を伴って発症し、皮膚には特徴的なダニの刺し口がみられ、その後数日で発疹が出る。全身倦怠感・食欲不振・頭痛・悪寒また重症化して肝機能障害や中枢神経症状を呈し死に至ることがあります。

予防と対策

- ・長袖・長ズボン・長靴・手袋を着用する（素肌の露出をさける）
- ・作業中に脱いだ上着、タオルなど草の上に放置しない。
- ・草の上に寝ころんだりしない。
- ・山林などに立ち入った後は入浴し、皮膚に刺口がないか確認し必ず着替える。脱いだ衣類を放置すると、衣類に付着したツツガ虫により家族が感染する恐れがあるので、速やかに洗濯する。

○体調にこのような症状があったら

山林・草地などに立ち入った後1～2週間経って風邪のような発熱や発疹、リンパ節腫脹などの症状が現れた場合には、速やかに医師の診断を受けましょう。その際これらの場所に立ち入ったことを必ず医師に話してください。

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

8月

はづき
葉月

暮らしのインフォメーション

皆さんの、日々の暮らしに役立つ情報がいっぱいです。
楽しい生活を送るために、ぜひ、ご活用ください。

健康ですか・・・*

保健衛生事業（8月分）

事業内容	期 日	場 所	時 間 帯
ポリオ予防接種	8月7日(月)	大 間 病 院	受付 13:30~13:50 対象 H11.3.1~ H18.5.7生
乳児1歳半健診	8月21日(月)	総合開発センター	受付 12:15~12:30 対象 H18.1~2月生 H17.1~2月生
3歳児健診	9月5日(火)	総合開発センター	受付 12:00~12:30 対象 H15.2月~5月生
BCG予防接種	9月8日(金)	大 間 病 院	受付 13:30~13:50 対象 H11.3.13~ H18.6.8生

※予防接種について、都合で受けられない場合は、担当まで連絡くださるよう、お願い致します。(住民福祉課 山本、暇名)

※お問い合わせ・詳細については、役場住民福祉課まで (内線41番)



平成18年 事業所・企業統計調査

全国すべての事業所や企業が調査の対象です。
調査員が調査票を持って皆様の事業所をお訪ねいたします。どうぞご協力ください。



9月下旬から調査員がお伺いします。調査員は「調査員証」を必ず携帯しています。
平成18年10月1日

総務省統計局 青森県

個人事業税(県税)についてのお知らせ

◎個人事業税の概要

個人事業税は、事業を営む個人の方で、県内に事務所又は事業所を有する方に課される県の税金です。原則として、前年の不動産所得及び事業所得から各種控除した額に対し課税されます。課税対象となる業種は、物品販売業等いわゆる営業の範囲に属する第一種事業、畜産業、水産業、薪炭製造業（主として自家労力により行うものを除く）などの第二種事業及び医業等いわゆる自由業に属する第三種事業があります。

それぞれ税率は次のとおりです。

- ・第一種事業… 5 % 第二種事業… 4 % 第三種事業… 5 % (ただし助産師業等は3 %)

◎納税方法と納期限

下北地域県民局県税部から送付される納税通知書により、8月と11月の2回に分けて最寄りの金融機関または県税部の窓口で納めてください(税額が1万円以下の場合には8月に全額納めることとなります)。納期限は第一期分が8月31日(木)、第二期分が11月30日(木)となっております。

また、口座振替も御利用できますので、金融機関・県税部にしてお申し込みください。

〈詳しくは〉

下北地域県民局県税部 課税課 TEL22-8581 内線208

印鑑登録システム稼働!

町の印鑑登録システムが平成18年8月より稼働します。

これに伴い、印鑑証明書等の様式が変更になりますので、お手元に届きました帳票につきまして、不明な点などございましたら、お手数でも担当までご連絡ください。

また、これまでの印鑑登録方法と異なることから、現在、登録印影のデータ移行作業と併せ、操作研修等実施し住民サービスの低下とならないよう努めているところですが、新システムの稼働直後は窓口等で多少お待たせすることもあるかも知れませんが、ご容赦くださいますようお願いいたします。

役場総務課戸籍係

あおもり県民カレッジ「あおもり学講座」開催

◎講義「あと3年!裁判員制度」

〈い つ〉 9月5日(火) 午前10時~正午

〈どこで〉 市立図書館

〈講師〉 青森地方裁判所 刑事首席書記官 塩澤 幸悦

◎講義「のぞいてみよう むつ湾の生き物PART2」

〈い つ〉 9月29日(金) 午前10時~正午

〈どこで〉 市立図書館

〈講師〉 海と森ふれあい体験館 館長 五十嵐 健志

◎講義「暦と暮らし」

〈い つ〉 10月6日(金) 午前10時~正午

〈どこで〉 市立図書館

〈講師〉 青森県立郷土館 総括副参事学芸課長 成田 敏

◎講義「薬と食の関わり」

〈い つ〉 10月31日(火) 午前10時~正午

〈どこで〉 市立図書館

〈講師〉 青森大学薬学部 教授 櫻井 栄一

◎「下北の山を知る」

〈い つ〉 11月15日(水) 午前10時~正午

〈どこで〉 市立図書館

〈講師〉 青森県総合社会教育センター 指導主事 田中 耕治

☆定員 30名 (参加費は無料です。)

☆申込締切 8月31日(木) ですが、当日も受け付けます。ただし、定員になりしだい締め切ります。

☆いずれも電話またはFAX(住所・氏名・電話番号明記)でお申込ください。

〈問合せ・申込先〉

下北教育事務所(担当 齊藤)

TEL 28-2300 FAX 23-8609

平成19年度

県立八戸工科学院学生募集

- 科名、定員及び期間
 - 機械システム工学科 20名 2年間 (NC工作機械・アルゴン溶接・CAD等)
 - 設備システム工学科 20名 2年間 (空調・給排水衛生・電気設備等の設計・施工・管理)
 - 自動車システム工学科 30名 2年間 (2級自動車整備士の養成)
 - 制御システム工学科 20名 2年間 (コンピュータ制御装置の設計・製作・プログラミング)
- 応募資格 志望校に対する興味と強い就職意識を有する高等学校卒業者 (平成19年3月卒業見込みの者を含む)
- 願書受付期間 平成18年10月10日 (火) ~11月2日 (木)
- 選考日 平成18年11月16日 (木)
- 年間経費 授業料…年額115,200円 (年4回の分納)
教科書・作業服・用品等として、2年間で約22万円程度必要です。(研修旅行費含む)
※資格取得受験料等は実費となります。
- 詳細は下記へお問い合わせください。

〒039-2246八戸市桔梗野工業団地二丁目5-30
青森県立八戸工科学院 (学生係)
TEL0178-28-6811 FAX0178-28-6815
URL <http://www.jomon.ne.jp/~koukag1/>
E-mail ha-kouka@pref.aomori.lg.jp

墓地をきれいに!

大間町共同墓地は、皆さんで使用するものです。

お墓への供物などやごみは、きちんと持ち帰り、共同墓地をきれいに使用しましょう。

建設環境課

整形外科休診について

医師不在のため、8月18日 (金) ならびに8月25日 (金) は、整形外科診療を休診いたします。

患者の皆さまには、ご迷惑をおかけしますが、ご了承ください。

(国保大間病院)

むつ総合病院の「診療日」及び「休診日」のお知らせ

むつ総合病院では、年末における12月29日 (金) を診療日といたします。

これに伴い、「振替休診日」として8月18日 (金) は休診いたします。

なお、救急患者については随時受付いたします。

自衛官を募集しています

受験手続などの詳しい内容につきましては、自衛隊「むつ募集事務所」TEL22-7484までお問い合わせください。

募集項目	受験資格	受付期間	試験日	試験会場
航空学生	高校卒 (見込含) 21歳未満	8月1日 ~ 9月8日	1次: 9月23日(土) 2次: 10月14日(土) ~10月19日(木) の指定された1日 3次: 11月12日(日) ~12月8日(金) の指定された1日 ※3次試験は航空自衛隊のみ	青森市 八戸市
一般曹候補学生	18歳以上 24歳未満	8月1日 ~ 9月8日	1次: 9月16日(土) 2次: 10月7日(土) ~10月13日(金) の指定された1日	大湊基地
曹候補士	18歳以上 27歳未満	8月1日 ~ 9月8日	1次: 9月16日(土) 2次: 10月7日(土) ~10月13日(金) の指定された1日	大湊基地
2等陸・海・空士	27歳未満	8月1日 ~ 9月8日	男子: 9月27日(水) 又は28日(木) 女子: 9月25日(月)	大湊基地

大間温泉

●海峡保養センター

【営業時間】

午前9時~午後9時

●養老センター

【営業時間】

午前8時~午後9時

【今月の休館日】

1日・8日・15日・22日・29日

○便利でお得な、割引回数券のご利用をおすすめします。

○保養センター玄関前への駐車はご遠慮ください。

わが家の めんこです

美咲希ちゃん (1歳)



ボール遊びが大好きな

わが家のやんちゃ姫。

健康で優しい子に育ってほしいです。

柳谷伸洋・亜紀子さん (奥戸字奥戸)

「わが家のめんこ」募集中
お申し込みは
企画調整課 広報係へ

わたしたちの町

平成18年6月末現在()前月比



	人口	男	女	世帯数
総数	6,436(+ 4)	3,240(+ 2)	3,196(+ 2)	2,461(- 2)
大間	4,876(+ 7)	2,449(+ 3)	2,427(+ 4)	1,926(- 2)
奥戸	1,335(- 2)	677(- 1)	658(- 1)	463(± 0)
材木	225(- 1)	114(± 0)	111(- 1)	72(± 0)



「戸籍の窓」には大間町に住民登録をしている人の出生、死亡、結婚について記載しますが、個人のプライバシーを尊重する意味で載せてほしくない人は届出の際に係に申し出てくださることをお願いいたします。

お誕生 おめでとう



駒嶺 ^{ひばり}日晴 (憲一) 齋藤 ^{まさと}大斗 (賢彦)
 杉山 ^{ひかる}輝 (利幸) 伊藤 ^{あらた}新 (亮)
 坂 ^{まなと}真七斗 (英登)

ご結婚 おめでとう



(伊世 卓矢(大間町)
 嘉賀 明菜(風間浦村))

おくやみ 申し上げます



蛸子 丈 83才 筑田 佐 70才
 濱端 廣利 92才 秋元かをる 70才
 松山 利勝 83才

編集室

大間小の改築についての記事を載せていますが、皆さんは小学校時代のことを覚えていますか。そんな昔のことは、よく覚えていないという方もいるかもしれませんが(自分もその中の一人ですが...)。同窓会などで友達と会った際に、自分の記憶が確かか、小学校時代の思い出について、語り合ってみてはいかがでしょう。

(イチ)

広報 **おおま** 第460号

発行日：2006年8月1日

発行：大間町 編集：企画調整課

〒039-4601 青森県下北郡大間町大字大間字大間104番地

☎(0175)37-2111 HPアドレス <http://www.net.pref.aomori.jp/ooma/>

印刷所：協同印刷工業株式会社